

EV充電器、 設置義務化の流れも!?

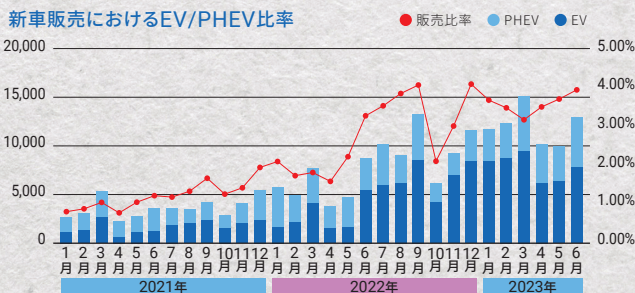
2030年までに30万基の充電インフラ設置へ ガソリン車並みの利便性を目指す

経済産業省は、今年8月に「第6回充電インフラ整備促進に向けた検討会」を開催。2030年までに急速充電器を含め30万基の充電インフラ設置という目標を掲げました。一方、自動車業界でも乗用車販売において、2035年までに電気自動車の占める割合を100%とする目標が掲げられています。そう遠くない未来に、EV充電器が一家に一台という時代が訪れるかもしれません。



EV市場は、軽自動車を中心に EV・PHVの受注が増加

電気を動力にして動く電気自動車（EV）には、バッテリーに貯めた電気だけで走るBEV、電気以外も使って走るHV、PHV、FCVなどがあります。新車販売時の販売比率を見ても、昨今のEV車人気は上昇傾向にあり、2023年6月は前年同月比1.2倍、一昨年同月比で3.2倍となっています。こうしたEV市場が活気づく一方で、EV充電器の充実化やエネルギーコストの高騰などは、さらなるEV車普及への課題でもあります。



出典：一般社団法人日本自動車販売協会連合会「燃料別販売台数（乗用車）」、
全国軽自動車協会連合会「軽四輪車通称名別新車販売確報」より

EV充電器の普及が、 カーボンニュートラル実現に向けたカギに

政府は、2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指すとしています。仮に日本で走るすべてのクルマがEV化すれば、CO₂排出量は約15%減になるとも言われています。そこで政府は急速充電器3万基を含む充電インフラの数を2030年まで

に30万基設置するという目標に向け、EV車の普及を充電環境からサポート。また、東京都では新築建築物にEV充電設備の整備を義務づける条例が議会で可決するなど、自治体を中心に整備を推進する動きが広がっています。



一家に一台のEV充電器時代に、 家庭から求められることは？

EV車の普及と充電設備の充実化は、一体的な関係にあると言えるでしょう。公共の場所や法人施設だけでなく、家庭や集合住宅など、場所を選ばず気軽に充電ができるようになると、EV車を選ぶ人が増え、EV車の普及が進むと、充電設備もさらに進化していく。こうした未来を見据えると、家庭でのEV充電器には、「充電がラクにできること」が求められると考えます。コードが充電器本体に繋がっていることで、手間が省かれ、毎日の充電が生活の一部に溶け込んでいく。そんな時代のニーズにも、カワムラは応えていきます。

「複数台のEV車を充電したいけど、電気の基本料金が大幅に上がってしまう。」「設置場所が...。」こうした充電へのニーズに、カワムラは「wayEV」や新登場「EVコンポ α Mode3」といった機器を提供。EVが一般化される未来に向けて、より快適なEVライフをサポートしていきます。

NEXT >>>

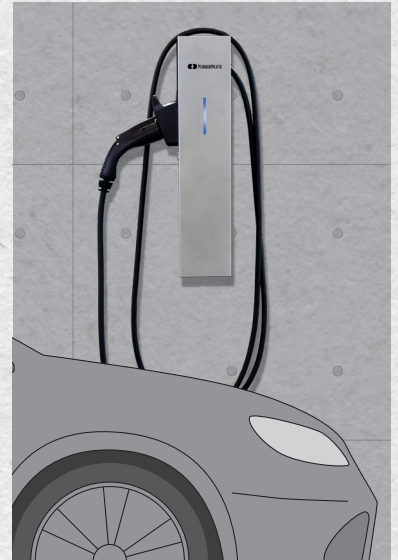
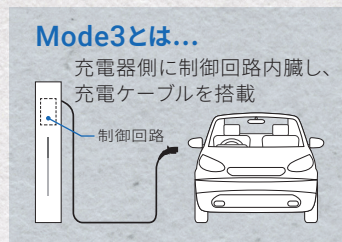
エクステリアに溶け込むデザイン 充電に便利とラクをプラス

「見られる住宅設備」としてデザイン性を追求したカワムラのEV充電器「EVコンポ」シリーズ。使い方や設置環境に合わせた選択が可能です。

6kW/3kW、選べる充電出力 充電ケーブル搭載で充電をラクに

EVコンポ Mode3

EV車は、車種によって充電受け入れ能力が異なります。例えば、3kW規格のEV・PHEVに、6kWの充電器で充電をおこなっても充電時間は短くなりません。そのため、車に合ったEV充電器を選ぶことが大切です。カワムラの『EVコンポ Mode3』なら、6kWと3kWの選択が可能。充電ケーブルが本体搭載のため、充電時の手間を省き、ラクに行えます。スリムでスタイリッシュなデザインがエクステリアとの相性も良く、使う方のライフスタイルに合わせてお選びいただけるEV充電器です。



省スペースで設置できる 複数台充電にも対応可能

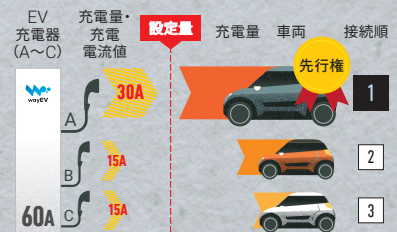
EVコンポ^{アルファ} Mode3

EVコンポ Mode3の高機能モデル『EVコンポα Mode3』は、通信ユニットを搭載することにより、複数台のEV車への充電を効率的におこなうことができます (wayEV連携)。法人だけでなく、今後、1台、2台...と、ご家庭で所有するEV車が増えていく場合に、EV充電器を増設しても充電量を制御することができ、電気料金の節約をサポートするなど、かしこく充電することができます。しかもコンパクトな設計により、限られた駐車場スペースでの複数台設置も可能です。

「wayEV (ウェイブ)」ってなに？

限られた電力をシェアして、複数台のEV充電をおこなうカワムラ独自のシステム。従来のような後から接続した車に充電ができない「ゼロ充電」を防ぐ「先行優先モード」を搭載。接続順に電力を割り当てながらも、設定量に達したら次の車に送電。充電量をかしこくコントロールして、ゼロ充電を無くします。

■充電器の充電総容量：60A(200V)／
充電器の充電電流値：30Aの場合



カワムラのEV充電器「EVコンポ」シリーズ

EV普通充電用電気設備 EVコンポ

戸建て住宅などに
おすすめ！

充電中でも鍵をかけられ、
ケーブルの盗難やいたずら
らを防止！



EVコンポ
シリーズ
過去の記事は
コチラ！



スマートEVチャージシステム wayEV (ウェイブ)

マンションなど
複数台の充電におすすめ！

限られた電力をかしこく
シェア。全台数を効率よく
充電できます！



wayEVに
関する
過去の記事は
コチラ！



住宅設備の今と未来がわかる「Kawamura 住まいのあんしん」サイトはこちら
[カワムラ公式サイトからもご覧いただけます]

